授業科目名	特例・学校の制度	単位数	2単位
担当教員名	北村　克久	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）	本科目は現場に則した学修内容であり、現場経験のある教員が、実践的な視点で指導する。		

「学位授与の方針」との関係

該当なし

授業のテーマ及び到達目標

（１）教育・保育の本質および幼児期の教育を含む学校（園）の社会的役割を問いつつ、学校教育制度などの変遷、制度を支える教育観・教育思想・保育思想などを考察し、今日の教育制度および学級（クラス）・学校（園）経営の直面している諸課題とその解決方向を考える。
（２）日本国憲法・教育基本法・学校教育法など教育制度を成り立たせている教育関連法制の骨格を理解する。
（３）あわせて、教育に関する基本的知識や考え方を、教育制度への考察を通じても身につけられるようにする。

授業の概要

幼稚園 ・保育所・認定こども園 や小学校の 学習指導要領の内容、制度の変遷等について学ぶことを通して、教育制度改革の当面する諸問題について考察する。

授業計画

第１回：能力の発達と人間人格の発達――教育課程とは何か・その１―
第２回：学校による子ども・青年の人格形成見通しとしての教育課程―教育課程とは何か・その２―
第３回：学習指導要領と教育課程（１）；教育内容の平準化機能と学習指導要領、試案としての学習指導要領、国家的基準性と法的拘束性を附与された学習指導要領
第４回：学習指導要領と教育課程（２）；小・中・高校および特別支援学校の各学習指導要領、幼稚園教育要領と保育所保育指針
第５回：学習指導要領と教育課程（３）；「高度経済成長」型つめこみ学習指導要領から、いわゆる「ゆとり」志向タイプの学習指導要領を経てグローバル社会の時代の学習指導要領へ
第６回：教科とは何か（１）；教科論の意義、子どもの認識発達の系統性と教科内容の系統性
第７回：教科とは何か（２）；「特別の教科・道徳」と教科論、教育課程における教科横断
第８回：発達と教育課程（１）；発達と環境、環境・仲間への主体的働きかけと発達、発達の過程
第９回：発達と教育課程（２）；あそびの発達的意義とあそびの発達過程
第１０回：発達と教育課程（３）；子どもの知的・人格的発達と言語～言語能力獲得の発達的意義と言語能力発達過程～
第１１回：「生きる力」をどう考えるか
第１２回：教育課程と学力（１）；学力とは何か
第１３回：教育課程と学力（２）；学力、基礎学力、学力の基礎、社会の中の学力
第１４回：初等教育の教育課程とカリキュラム評価をめぐる諸問題
第１５回：教科以外の諸活動の適切なあり方、小学校6 年間の全体や学童保育など学校外の諸活動も見渡したうえでの学校全体教育課程の運営ほか、カリキュラム・マネジメントをめぐる諸問題
科目修得試験

スクーリングでの学修

テキスト

水内宏（2020）『教育学のすすめ』一藝社、9784863591295

参考書・参考資料等

川口 洋・中山 弘之 編『未来を創る教育制度論』北樹出版9784779306204

学生に対する評価

レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）